

『 粉遊び、楽しい! 』 5歳児 2月



友達や4歳児と関わることで、伝え方を学んでいます

エピソード

クエン酸・重曹・洗濯糊の粉を使って遊んでいます。4歳さんが「一緒にしていい?」と聞くと、「いいよ」「これ使って」と道具を渡してあげ、「粉は3杯だよ」と量を優しく話していました。

水と粉の量を考えながら混ぜています。(今日の気分はぶにぶにの感触) (形をつくってみようかな)と考えていそうな真剣な表情で遊んでいます。A児は水の多めでとてもやわらかいぶにぶにを作り、B児は水の少なめの固めのおもちを作ります。また、指に巻きつけて「指折れちゃった!」とギプスを作る子も。他にも型抜きにはめてみたり、ドーナツを作ってみたりなど遊んでいます。

保育者の思い

- ・好きなもの・遊びに満足できるまで関わってほしい
- ・遊びの中で物の性質に(粉の種類による違いや水分量など)気付いてほしい
- ・探求する楽しさを味わってほしい
- ・友達のしていることに興味を持ち、やってみたい、知りたい、一緒にしたいなど関わってほしい

◎子ども達はいろいろ試してみて選択しています。目の前にいる子ども達が何をみていて、興味を持っているのかを捉え、一緒に選択し、見守っていきたいです。

子どもの育ちや学び 5月から遊びが続いています

試す(モノの性質・量) 変化・気付き

- ・いろいろな種類を混ぜることを楽しんでいます
- ・粉を入れる楽しさ・道具を使う楽しさがみられました

- ・水と粉の量を考え、扱いやすい硬さが作れるようになりました
- ・ちょうどよい硬さができると形をキープでき、自由成型につながります

混ぜる

感触

型抜き

自由成型

- ・好きな感触を見つけて存分に味わっています
- ・一人ひとり好きな感触が違うことに気付きます

イメージを形にする楽しさを味わっています



家庭だったら・・・

子どもたちは日々試しながら遊び、選択しています。自分で納得して決めることで、思い通りにいなくても少し戻ってまたやってみようと思えるのではないのでしょうか。正解やより良い方法を先に教えるのではなく、子どもの選択を温かく見守ることで、安心できる大人・場所をたくさん作ってほしいですね。